

# 魅力ある産業にする予算を

## 全建総連／中央省庁交渉



厚生労働省・基準局との交渉



厚生労働省・保険局との交渉

### 保険局

## 定率補助は現行維持

### 「思い受け止めたい」と回答

鈴木副委員長を団長に7人が参加、保険局からは野村国保課長ら4人が対応。概要要求段階での現行補助水準の確保等について要請を行ないました。

野村課長は、診療報酬改定年度となる来年度の予算確保に向けて「所得水準の低い国保組合への定率補助については現行通り32%を維持。普通調整補助金も必要額が配分さ

れるよう配慮している。今後建設国保がこれまで果たしてきた役割や機能を十分に発揮できるように支援していきたい」。裁量的経費については「財政当局から概算要求基準はまだ示されていないが、例年10%削減が求められる厳しい状況で理解を求めた上で、「昨年度に引き続き、増額要求も含め必要額が確保できるように取り組んでいきたい」と述べました。

なお、医療保険制度については「市町村国保と国保組合という大きな2つの枠組みを変更する考えはない」としました。

4年ぶりの実施となった2018年度定期所得調査については「調査結果は現在精査中」としながら、「結果を踏まえ、昨年度までと同様に所得水準の低い国保組合については、必要な額が配分される

化、働き方改革への支援、石綿ばく露防止強化への予算確保を要請しました。木村団長からは「解体現場

### マイナンバーカード義務化ではない

### 総務省



総務省との交渉

山口副委員長を団長に税務担当役員10人で金融庁と総務省交渉を行いました。

金融庁への要請は預金口座への個人番号の付番を義務化しないことの一項目。岡本総合政策課課長補佐及び早川金融税制第4・5係長が対応。

「口座へ付番の義務化の考えは持っていない。マイナンバーカードは活用促進は内閣府を中心とした方針が立てられる」と答弁。全建総連は、「預金情報など多くの個人情報を持つ金融機関の監督官庁

に、組合員の賃金の窮状について訴え、「苦しい実態を踏まえての要請。思いを受け止めてほしい」との回答を得ました。

「マイナンバーカードの普及には、組合員の賃金の窮状について訴え、「苦しい実態を踏まえての要請。思いを受け止めてほしい」との回答を得ました。

「マイナンバーカードの普及には、組合員の賃金の窮状について訴え、「苦しい実態を踏まえての要請。思いを受け止めてほしい」との回答を得ました。

### 住宅局

## リフォーム団体制度普及推進に工夫

林副委員長を団長に13人、国土交通省は石田住宅局長、長谷川住宅生産課長など14人が対応しました。

消費者への住宅リフォーム事業者団体登録制度(以下、

「リフォーム団体制度」の普及推進には「会員事業者を検査できるポータルサイト創設、宣伝物作成、動画広告など取り組んだ。これからは全リ協をはじめ登録団体にとつ

と要望がありました。また、「外国人労働者への安全対策として各国言語のテキスト作成と言語対応の人材確保を」

と要請。厚労省からは「テキストは作成中。局に話せる担当者配置」などの回答がありました。フルハーネスの買い替えの補助金について

参加者からは、「次年度の予算増額と、今年度の間接補助金申請の手続きで中小事業主が申請しやすい手続きにしてほしい」と要請しました。

### 基準局

## 外国人安全対策もフルハーネス補助拡大へ

基準局との交渉に全建総連からは木村団長を含め22人、基準局からは、安全衛生部の奥村安全課長を含め8人が参加しました。安全衛生の予算の拡充、フルハーネス型墜落制止用器具の間接補助金など

の予算の拡充、東京オリパラ現場への安全衛生対策費をつけて建設労働者の安全対策の強化、現場調査員の増員、外国人労働者への安全対策の強

での石綿対策、建設現場で働く労働者の労働安全を強化するための予算確保」とあいさつ。厚労省からは「フルハーネス型墜落制止用器具の間

び健康の確保に関する計画を出している自治体が少ない。安全衛生対策を強めるため緊急に基本計画を作成するように国から要請してほしい」と

質疑応答では、参加者から「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する計画を出している自治体が少ない。安全衛生対策を強めるため緊急に基本計画を作成するように国から要請してほしい」と

厚労省・人材開発統括官班は、森田副委員長をはじめ26人が参加、企業内人材開発支援室からは福岡室長他2人、能力評価担当室長から

鈴木補佐ら計6人が対応。冒頭、福岡室長はあいさつで「生産年齢人口減少の中、企業内人材育成・開発は重要と認識している。概算要求で

### 官人

## 人材確保は重要 支援継続に努めていく

も適切な額を確保できるように努めていきたい。また、いづれも今年度で時限措置が期限の認定職業訓練事業費補助金における建設分野の増額措置と、建設労働者緊急育成支援事業について、「人材確保は引き続き重要と認識し、いづれも現段階で終わらせるべきではないと考えている。何

らかの形で支援継続に努めていきたい」としました。若者の技能検定受験手数料の減免措置については、「来年度以降も実施できるように予算措置を進めている」、技能検定の人数制限職種については、「都道府県や各能開に、解消の努力を呼び掛けてきた。国としても実技試験の緩和など引き続き検討したい」と回答。交渉団から、「訓練生の算定単価引き上げを。働き方改革で事業主の負担増での人材育成は大変」「CCUSで資格需要が高まる中、技能検定の機会不公平が起きないよう人数制限職種解消に一層の努力を」「技能検定員の確保に謝金増額は不可欠。レベル4水準に見合う設定に」などの訴えが出されました。

### 詰将棋の解答

▲3三金△同桂▲同角△2一玉▲1三桂△同香▲1二馬△同玉▲2四桂△2一玉▲3二桂成△1二玉▲2一馬まで13手詰。